

「Re壁」広報・PR

1月下旬表参道駅で展示 付箋剥すとポスター出現

日本壁装協会の『Re壁』プロジェクト広報・PR計画の第1弾、アウトドアPRが実施された。

内容は人通りの多い通路に『Re壁』を認知し親しんでもらうための壁面広告を掲出するというもので、その広告も、単に表示するだけでなく、広い広告面全体を『Re壁』マークで覆い、マークを剥すと、その下に壁紙の部屋が出てくるという趣向の企画。

このPRは、1月25日から31日までの間、地下鉄銀座線の表参道駅改札外通路で行われた。

地下鉄の改札を出るとその正面の壁面に、高さ約2m×巾117mの大きなポスター展示があり、合計16枚の様々な壁紙で仕上げられた部屋のポスターが張られていた。始めは、各部屋の写真は『Re壁』マークの小さな付箋が貼り付けられ隠れていたが、通行人が付箋を剥すと写真が現われた。

実際は、この付箋剥がしは人々の興味を引き、展示後その日のうちに全部剥され、部屋の写真面になっていたという。

壁装新聞(第432号)より引用